



師範
徳永直恵

師範正
相田ひとみ

師範正
藤秀月

成家
深町鳳月

成家
槌井末美

成家
秋永春霞



準3級
坂本瑞稀

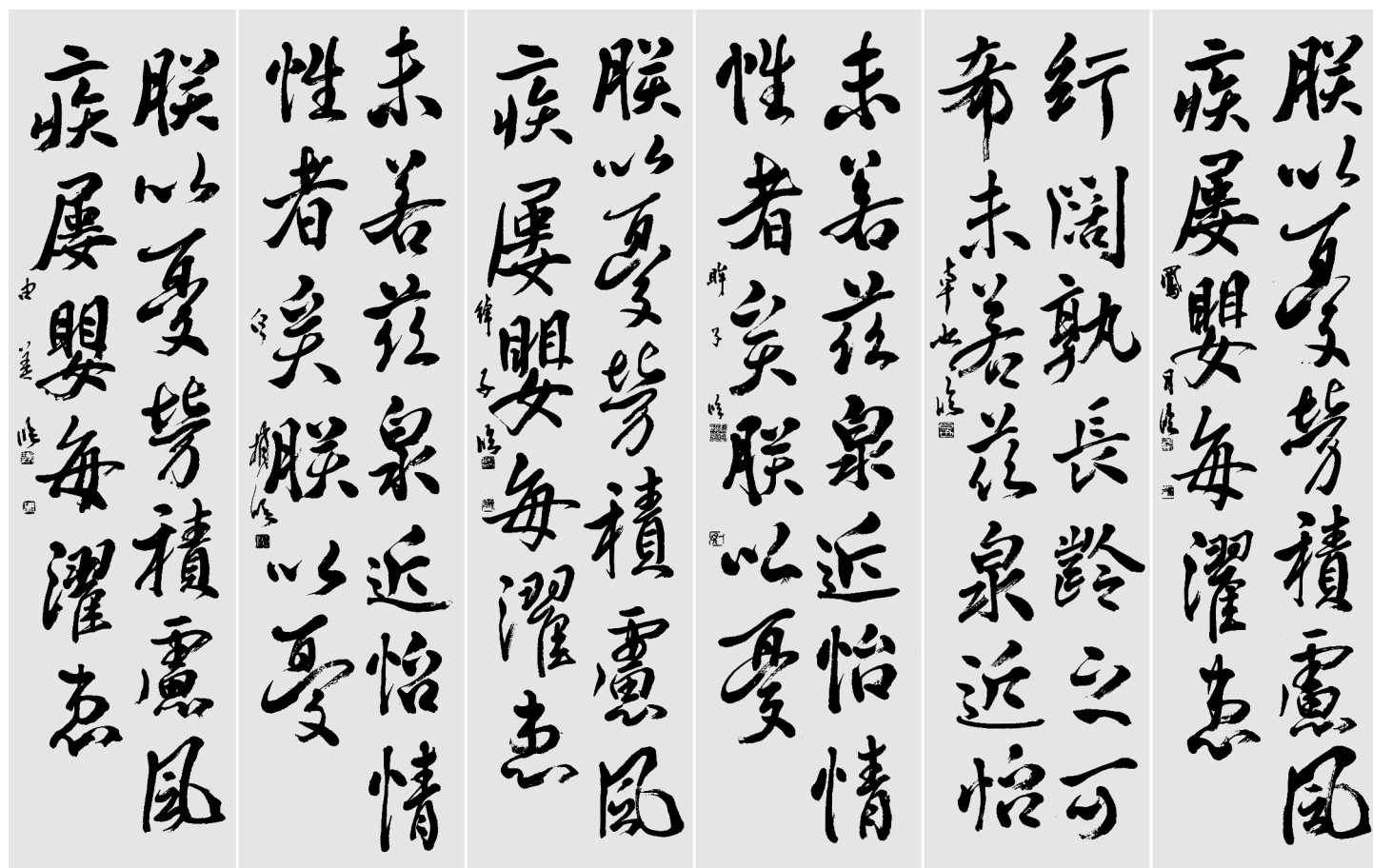
初段
金光昭行

準四段
尾崎和葉

準師範
浜田悦子

師範
岡由香里

師範
番隆子



師範
福沢由美子

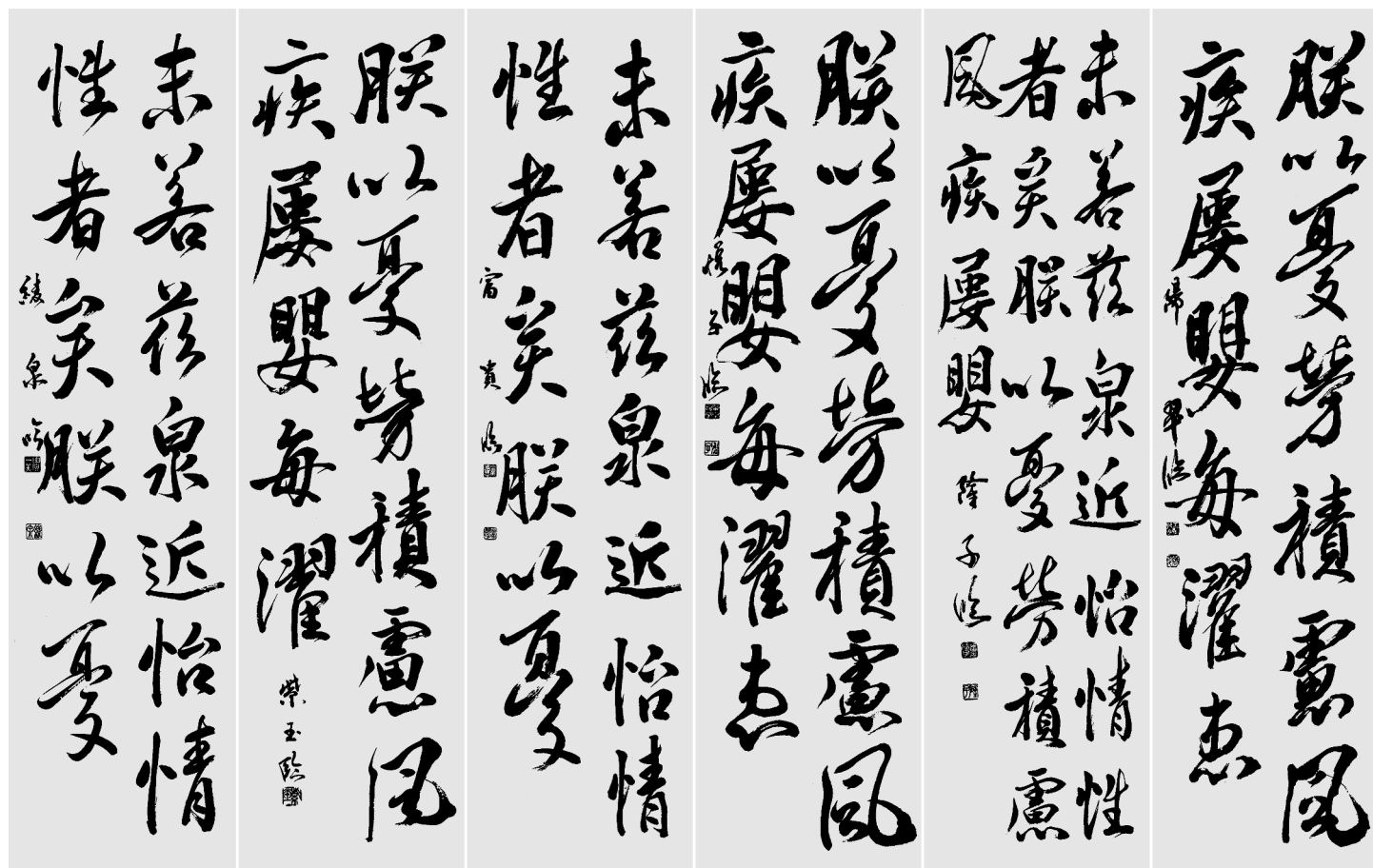
師範
古瀬白梢

師範正
村内綽子

師範正
粗田ひとみ

師範正
樋口卓也

成家
深町鳳月



準4級
田原綾泉

準四段
久保山紫玉

準師範
小田原富貴

六段
牟田悦子

師範
番隆子

師範
工藤陽翠



師範 龍 由香里



師範 槇橋 篤子



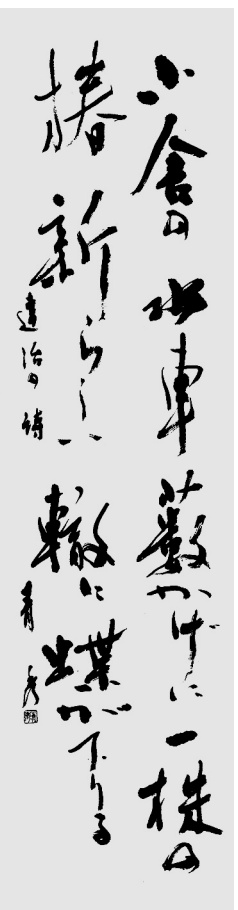
師範正 内 梨 櫻 舟



師範正 宮 本 虹 鶴



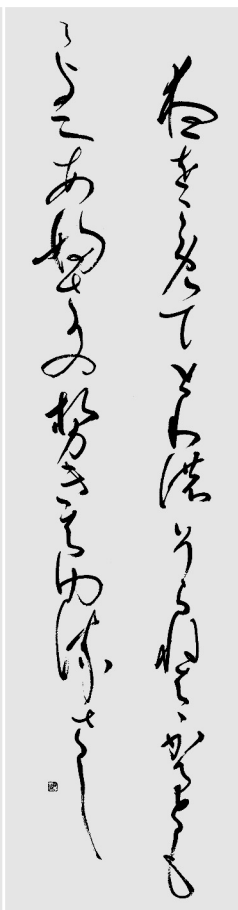
師範正 川久保由香里



成家 細 田 青 秀



1 級 川 野 藍 秀



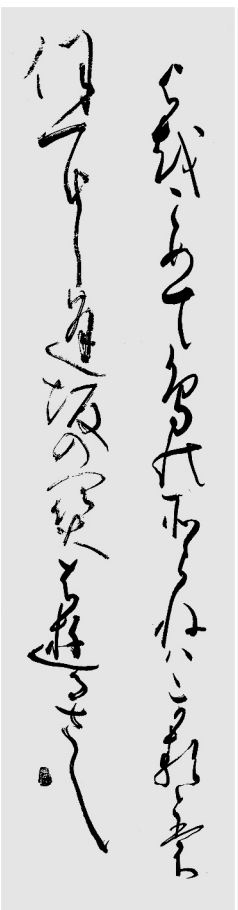
準三段 中 島 義 克



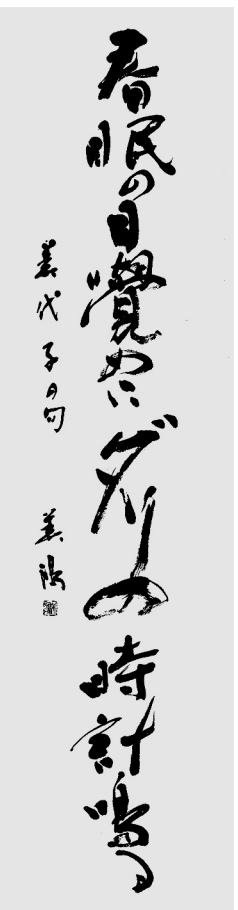
準師範 莊 田 杏 菜



準師範 原 蒼 孔



師範 荒 木 美 千 子



師範 榎 園 美 鴻



師範正 田 尻 白 華



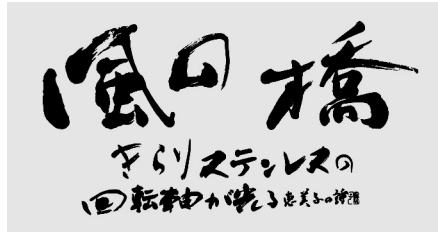
師範正 瀬 戸 和 人



成家 幸 彩 華



準三段 竹 本 航



準六段 小 川 玉 燐



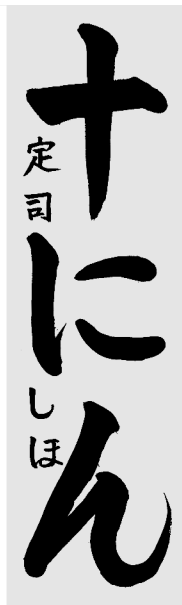
師 範 藤 永 琇 雲



小4.準3級
井 上 愛 月



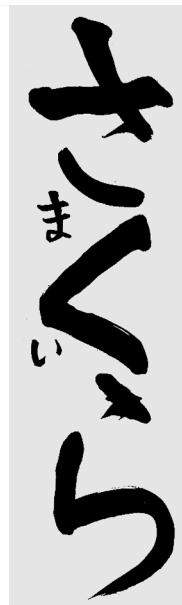
小4.初段
福 永 彩 乃



小3.準三段
定 司 志 穂



小3.1級
花 野 愛 央



小2.5級
尾 田 舞



小2.5級
小 野 ななみ



小1.3級
中 山 ことね



中3.準特待生
小 野 沙 桜



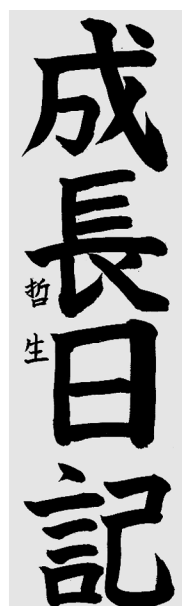
中1.準特待生
松 井 美 月



小6.準六段
末 兼 明日香



小6.準特待生
高 井 絵 菜



小5.初段
岡 哲 生



小5.準四段
池 田 陽 香



小5.準三段
谷 口 向日葵

半紙規定優秀作品 (4月末日締切分)



師範
檜橋篤子

師範正
長尾久仁子

師範正
大平松泉

師範正
野中静波

成家
槌井末美

成家
深町鳳月

成家
堺峰雪



準六段
小川玉燐

六段
櫻井敏子

準師範
木場迫清扇

師範
久保象雲

師範
三井千鶴

師範
樺澤美奈

師範
武田桐生



準三段
古田櫻舟

準三段
山口胡舟

三段
本山友美

準四段
吉岡妙子

四段
道士井真子

準五段
森竹洋子

五段
武田恵子



2級
原洋美

準1級
柳田芳子

1級
紫垣蒼生子

準初段
森彩乃

初段
手塚久美

準二段
清村白燕

二段
高松松子



準5級
井上修志

5級
川崎美優

準4級
奥西海大

4級
平田夕岐代

準3級
坂本瑞稀

3級
山口瑠奈

準2級
宮崎蝶華



準8級
山口美沙

8級
有光俊則

準7級
池田朋江

7級
三浦佳子

準6級
鬼塚咲子

準6級
藤丸美恵

6級
田中唯慈

半紙随意優秀作品 (4月末日締切分)



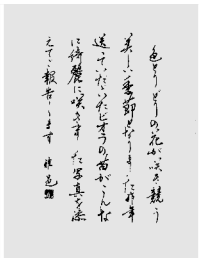
師範
古村青霞



師範
岡由香里



師範正
福田喜久恵



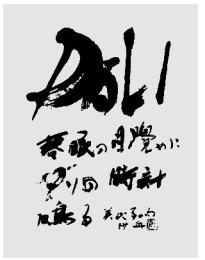
師範正
長野雅邑



師範正
村内綽子



成家
山本勝香



成家
下川沙舟



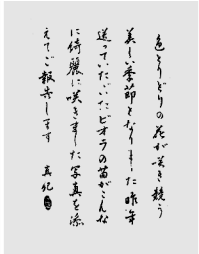
五段
辻裕翠



準六段
芦刈海華



準六段
莊田杏菜



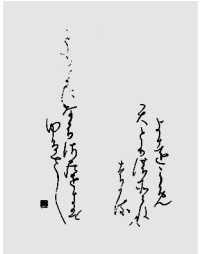
六段
伊良子真紀



六段
毛利奈津子



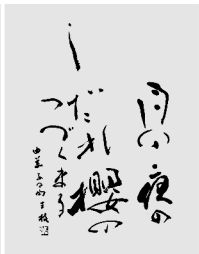
準師範
大迫雅古



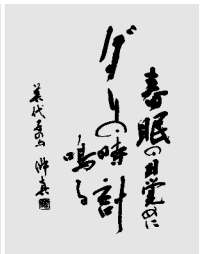
準師範
正円早苗



準三段
小森万里奈



三段
中島三枝



三段
山中淑真



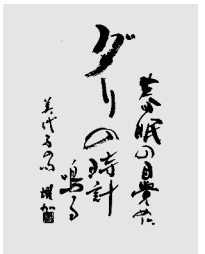
準四段
久保山紫玉



準四段
鈴木鶴聲



四段
西川ルミ子



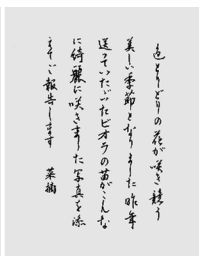
準五段
勝部耀加



準1級
中村華心



1級
川野藍秀



準初段
梶本菜摘



初段
奥野季仙



準二段
平井翠峰



二段
新井萌華



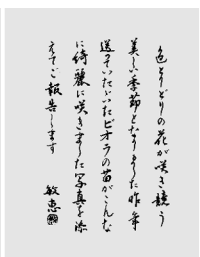
準三段
花田恵美子



5級
井上貴子



準4級
宮崎恵子



4級
畑迫敏恵



準3級
北崎安子



3級
管奈々子



準2級
徳永恵梨



2級
古瀬香



準8級
佐藤日出美



8級
小川華亜



準7級
平岡成子



7級
溝上玲子



準6級
大塚忠則



6級
清原小夜



準5級
川元美峰

半紙随意(臨書)優秀作品 (4月末日締切分)



師範正
上津原 踏月

師範正
池田 白梨

師範正
徳永 仁美

師範正
長野 雅邑

成家
白水 春鷺

成家
秋永 春霞

成家
下田 華恵



師範
徳永 直恵

師範
古瀬 白梢

師範
木村 千代

師範
由留部 裕美子

師範
安仲 夕蟬

師範正
内梨 櫻舟

師範正
原口 梅香



準六段
浦部 美峰

六段
白松 恵華

六段
壇上 茂子

準師範
小村 佳将

準師範
島崎 佳子

準師範
梶原 沙織

師範
江崎 竹扇



三段
衛藤 佳代子

準四段
久保山 紫玉

四段
毛利 照子

準五段
鶴田 紅霞

準五段
大谷 淑子

五段
中村 春蘭

準六段
芦刈 海華



2級
鈴木 華鈴

準1級
白石 和子

初段
三島 久子

準二段
清村 白燕

準三段
田中 葵

準三段
草場 純子

準三段
久保 厚子



7級
井上 くに子

準5級
西村 二三子

準4級
井手 昊華

4級
横川 美公

準3級
坂本 瑞稀

準3級
中國 名利

3級
山口 瑠奈

半紙優秀作品 (4月末日締切分)



6 級 阿 部 あやか
準5級 中 園 り よ
5 級 茶 園 杏李那
準8級 金 子 小 和
8 級 こうだももか
準7級 やましたすずか
準5級 有 附 昇 奏



準8級 平 賀 鈴 音
準8級 田中けんたろう
8 級 小 河 原 百 花
8 級 熊 倉 蒼 空
準7級 土 井 はるか
7 級 京 百 合 菜
準6級 田 代 祐 太



準4級 山 本 和 花
4 級 植 涼 羽
準3級 井 上 隼 人
3 級 家 村 舞 音
3 級 本 田 瑞 季
2 級 桑 原 理 沙
準1級 栗 田 茉 弥



準8級 池 崎 みはる
8 級 池 田 りくほ
準7級 丸 野 ゆう子
準7級 波田野けいご
7 級 阿 部 友梨花
準6級 上 田 夏望子
準5級 諸 永 遥 音



4 級 有 田 奈 生
準3級 井 上 菜 月
3 級 長 嶺 紗 子
準2級 佐 藤 千 波
1 級 岩 本 真 和
初 段 平 松 優季子
準三段 日 高 玲 音

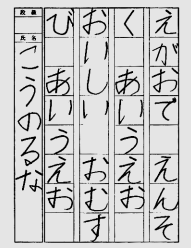
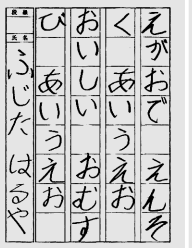
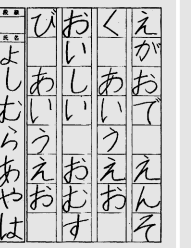
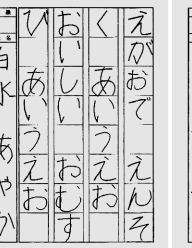
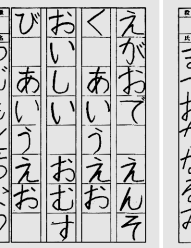
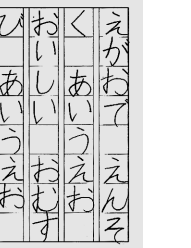
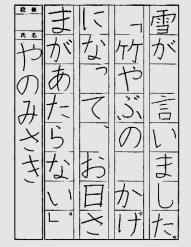
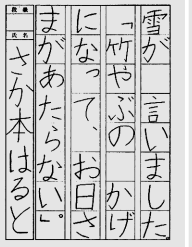
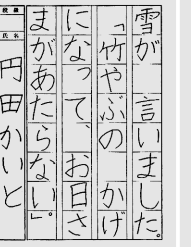
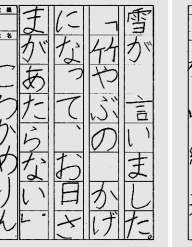
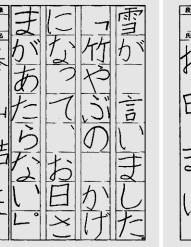
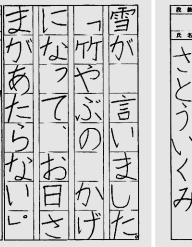
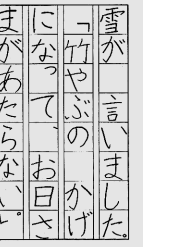
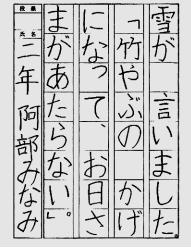
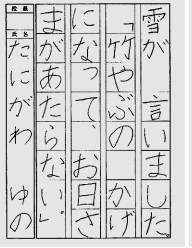
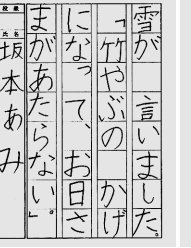
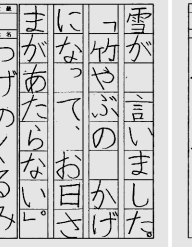
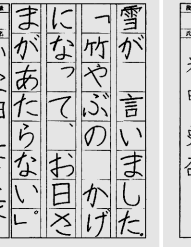
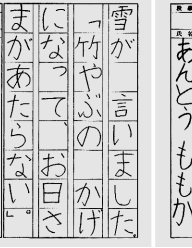
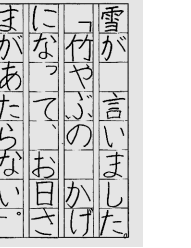
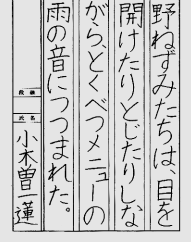
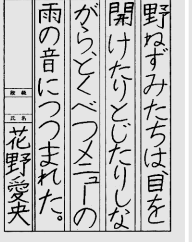
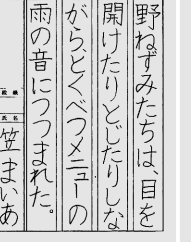
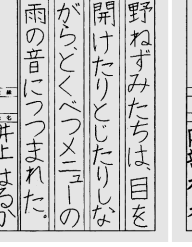
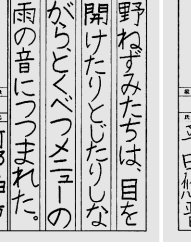
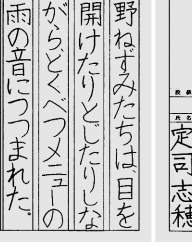
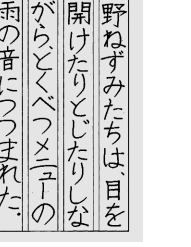
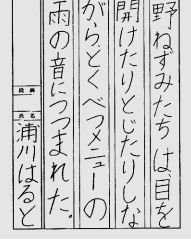
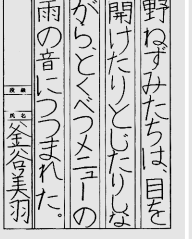
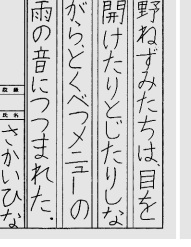
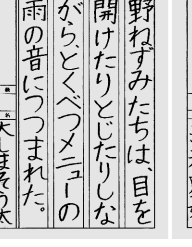
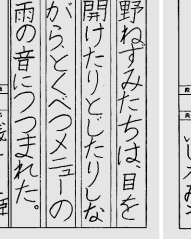
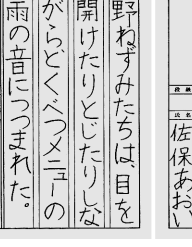
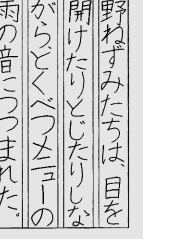
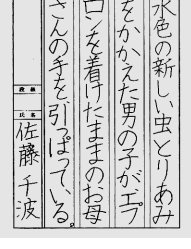
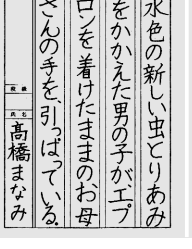
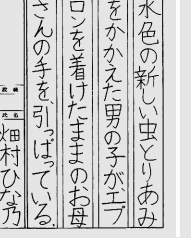
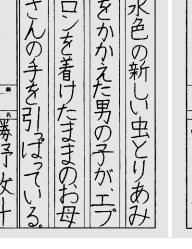
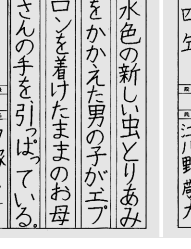
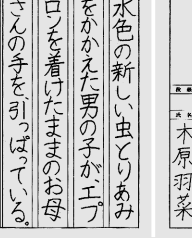
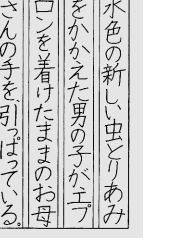


準7級 後 藤 結
準6級 成 富 ひ な
6 級 馬 場 友羽輝
準5級 松 江 りおん
5 級 江 口 莉 乃
5 級 菅 原 大 地
準4級 染 矢 怜

半紙優秀作品 (4月末日締切分)

乃暖 成長 準1級 山本乃暖	五年 未愛 成長 準初段 三城未愛	岡哲生 成長 初段 岡哲生	胡葉 成長 準二段 吉本胡葉	五年 工藤未羽 成長 二段 工藤未羽	五年 末森友菜 成長 準四段 末森友菜	中平未夢 成長 準五段 中平未夢
五年 柴田凌 成長 7級 柴田凌	悠生 成長 6級 岡村悠生	五年 福泉佳歩 成長 5級 福泉佳歩	川端夢夏 成長 準4級 川端夢夏	実香 成長 4級 岩切実香	五年 井上京花 成長 準3級 井上京花	怜生 成長 準2級 吉田怜生
楓華 友情 二段 高楓華	柚衣 友情 準三段 執行柚衣	彩華 友情 三段 吉富彩華	沙希 友情 準四段 赤木沙希	六年 佐藤千夏 友情 四段 佐藤千夏	六年 惣間史歩 友情 五段 惣間史歩	末兼明日香 友情 準六段 末兼明日香
礼 友情 準7級 実藤礼	栄斗 友情 5級 垣内栄斗	諒風 友情 準4級 日吉諒風	雄真 友情 4級 中須賀雄真	陽花 友情 準2級 渡邊陽花	文香 友情 1級 牧野文香	舞 友情 準二段 江口舞
中一千晴 新風 準5級 福山千晴	中一石川大雅 新風 1級 石川大雅	重富未来 新風 初段 重富未来	中一年山口実桜 新風 準二段 山口実桜	中一矢野栞南 新風 準三段 矢野栞南	一年萩原なつみ 新風 準四段 萩原なつみ	中一永田湧輝 新風 四段 永田湧輝
菊乃 雷鳴 準三段 富田菊乃	美紅 雷鳴 準四段 山下美紅	大平こころ 雷鳴 準五段 大平こころ	中三年池田朱里 雷鳴 五段 池田朱里	中三井上瑞稀 雷鳴 準六段 井上瑞稀	古川紗也 雷鳴 六段 古川紗也	中三野見山栞 雷鳴 特待生 野見山栞

硬筆優秀作品 (4月末日締切分)

						
準8級 こうの る な	準8級 ふじたはるや	準8級 吉 村 彩 芭	8 級 白 水 あやか	準7級 辻 本 千 夏	準6級 松 岡 なるみ	準5級 まつい せり
						
準6級 や の みさき	6 級 坂 本 はると	準5級 円 田 かいと	5 級 小若女 凜	5 級 春 山 結 美	準4級 尾 田 舞	4 級 佐 藤 生 望
						
準8級 阿 部 みなみ	準8級 谷 川 柚 乃	8 級 坂 本 あ み	8 級 告 野 くるみ	準7級 稲 田 たくま	準7級 米 田 吏 杏	7 級 安 藤 ももか
						
準4級 小 木 曾 一 蓮	4 級 花 野 愛 央	準3級 笠 まいあ	準3級 井 上 明 香	3 級 阿 部 柚 希	準2級 平 田 悠 晋	2 級 定 司 志 穂
						
8 級 浦 川 はると	準7級 釜 谷 美 羽	準6級 さかい ひ な	6 級 大 嶋 颯 太	6 級 浅 井 星 姫	準5級 ふじ木 み う	5 級 佐 保 葵
						
準3級 佐 藤 千 波	準2級 高 橋 まなみ	2 級 畑 村 ひな乃	準1級 勝 野 敢 斗	1 級 中 塚 史	初 段 江 川 野 敬 大	準二段 木 原 羽 菜

硬筆優秀作品（4月末日締切分）

水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子がエプロンを着けたままのお母さんの手を引っぱっている。 ●● 泉 日菜	水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子がエプロンを着けたままのお母さんの手を引っぱっている。 ●● 寺島 未徠	水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子がエプロンを着けたままのお母さんの手を引っぱっている。 ●● 馬場 友羽輝	水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子がエプロンを着けたままのお母さんの手を引っぱっている。 ●● 江口 莉乃	水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子がエプロンを着けたままのお母さんの手を引っぱっている。 ●● 小野 里桜	水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子がエプロンを着けたままのお母さんの手を引っぱっている。 ●● 松尾 かおる	水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子がエプロンを着けたままのお母さんの手を引っぱっている。 ●● 釘宮 齊大
準8級	準7級	準6級	6級	準5級	5級	4級
泉 日菜	寺島 未徠	馬場 友羽輝	江口 莉乃	小野 里桜	松尾 かおる	釘宮 齊大
子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 福田 沙羅	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 吉本 胡葉	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 山本 彩心	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 津村 咲貴子	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 飯室 愛梨	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 大北 紗也	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 宮本 詩
1級	初段	準二段	二段	二段	準三段	準三段
福田 沙羅	吉本 胡葉	山本 彩心	津村 咲貴子	飯室 愛梨	大北 紗也	宮本 詩
子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 竹内 綾音	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 永田 葉菜	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 青木 柊	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 小宮 さくら	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 岩切 実香	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 藤村 侑純	子どもたちはおかしくてふふふと笑いました。お母さんは口を指を当てるだまづておいでと言いました。さむらいがおこつては大変だからです。 ●● 福泉 佳歩
準8級	3級	準2級	準2級	準1級	準1級	1級
竹内 綾音	永田 葉菜	青木 柊	小宮 さくら	岩切 実香	藤村 侑純	福泉 佳歩
絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 三隅 鈴香	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 川上 由貴子	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 川島 七海	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 水崎 莉奈	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 濱田 はるか	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 三浦 玲央	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 高治 仁美
2級	準1級	1級	準二段	二段	四段	準六段
三隅 鈴香	川上 由貴子	川島 七海	水崎 莉奈	濱田 はるか	三浦 玲央	高治 仁美
絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 垣内 栄斗	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 宮林 奈々美	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 河崎 萌	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 池田 千紘	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 的場 麗太郎	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 山東 優葵	絶対に「めんなさい」は言わない。言うもんかお父さん。なんかに「いかに」に意地を張るのはやめなさい。お母さんはあきれ顔で言うけどあやまる気はない。 ●● 菅原 祐子
準6級	6級	準5級	準4級	4級	準3級	準2級
垣内 栄斗	宮林 奈々美	河崎 萌	池田 千紘	的場 麗太郎	山東 優葵	菅原 祐子
兄ちゃんが言ったとおり鳥かごがあった。ほりだらけだった。育海はお風呂場で鳥かごを洗う。洗いながら面倒くさい仕事はいつもあった。と二人文句を言っていた。 ●● 菅原 元輝	兄ちゃんが言ったとおり鳥かごがあった。ほりだらけだった。育海はお風呂場で鳥かごを洗う。洗いながら面倒くさい仕事はいつもあった。と二人文句を言っていた。 ●● 友成 天音	兄ちゃんが言ったとおり鳥かごがあった。ほりだらけだった。育海はお風呂場で鳥かごを洗う。洗いながら面倒くさい仕事はいつもあった。と二人文句を言っていた。 ●● 中嶋 来維	兄ちゃんが言ったとおり鳥かごがあった。ほりだらけだった。育海はお風呂場で鳥かごを洗う。洗いながら面倒くさい仕事はいつもあった。と二人文句を言っていた。 ●● 大野 圭史郎	兄ちゃんが言ったとおり鳥かごがあった。ほりだらけだった。育海はお風呂場で鳥かごを洗う。洗いながら面倒くさい仕事はいつもあった。と二人文句を言っていた。 ●● 土井 彩加	兄ちゃんが言ったとおり鳥かごがあった。ほりだらけだった。育海はお風呂場で鳥かごを洗う。洗いながら面倒くさい仕事はいつもあった。と二人文句を言っていた。 ●● 福田 瑞歩	兄ちゃんが言ったとおり鳥かごがあった。ほりだらけだった。育海はお風呂場で鳥かごを洗う。洗いながら面倒くさい仕事はいつもあった。と二人文句を言っていた。 ●● 川崎 梨紗
五段	準六段	準六段	六段	六段	準特待生	特待生
菅原 元輝	友成 天音	中嶋 来維	大野 圭史郎	土井 彩加	福田 瑞歩	川崎 梨紗

硬筆優秀作品（4月末日締切分）

兄ちゃんが言たとおり、鳥かごがあつた。ほこりだらけだつた。首、海はおふる場で鳥かごを洗う。洗いなから「面倒くさい仕事はいつもあつた」と一人で文句を言つていた。

準五段
北村友佳

兄ちゃんが言つたとおり鳥かこが
あつた。ぼこりだらけだ。育海
はおぶる場で鳥かこを洗う。洗ひ
ながら「面倒くさい仕事は、つもあ
たし」と一人で文句を言っていた。

準三段
萩原 なつみ

動物園の象の寿命は、故に飼ひの善くにも満たない。餌や天敵を心配せずに長生き出来るはずなのに、樂園とはいかない。研究チームは「檻の中で生きるストレスと肥満が、命を削るとみる。

師範正
村 内 綽 子

動物園の最の寿命は、故に飼ひの法
にも満ちない餌や天敵を心配せず
に長生き出来るはずなのに、樂園と
いふに、研究チームは檻の中で生き
ストレースと肥満が命を削るとみる

五 段
伊良子 真紀

萬物といふは、ことと活動とを指すの春。然れども、
の平素の愛護と、
平素の出入とを概し、一時の流行のせいで、ゆゑ
くると、時令よりなほ、
高校生活の春といふは、
に覺るゝものだといふと、
お母も、
春田 清

三段
廣田 滯

動物園の象の寿命は、放し飼ひの牛かにも満たない餅や天敵を心配せずに長生き出来るとは、ずいぶん樂園といふが、研究室チームは檻の中生きろストレスと肥満が命を削るとみふ。

2 級
海江田 康 枝